

吉野川市立山川中学校



1 学校の概要

- ① 生徒数 259名
- ② 校訓 「自律・親和・創造」

目指す生徒像

- ・自ら考え、判断し、行動できる生徒
- ・仲間と協力し、支え合い行動できる生徒
- ・行動に責任を持ち、自他のいのちを尊重する生徒
- ・礼儀正しく、決まりを守り、けじめある生活ができる生徒
- ・くじけない意志を持ち、ねばり強くやりぬく生徒

2 行動方針

- ① 節電・節水に努めます。
- ② 学校におけるゴミの分別に努めます。
- ③ 学校におけるリサイクル活動を行います。
- ④ 地域の清掃をします。
- ⑤ 地域の方々と一緒に花壇に花を植えたり、カーブミラー清掃を行います。

3 行動

- ① 節電・節水の呼びかけ
- ② ゴミの分別



節電・節水を呼びかけるポスターを掲示し、全校に協力を呼びかけた。



ゴミを分別することでゴミの減量化に努め、ボトルキャップはワクチン接種の協力の、使用済み用紙は再生紙としてそれぞれ引き取ってもらっている。

- ③ リサイクル活動



ペットボトルのキャップ，プルタブ，インクジェットカートリッジについては，学校で出されるものだけでなく，生徒会の呼びかけで各家庭や地域からも回収している。

④ 地域を清掃

- 年1回1年生全員で通学路の清掃活動をしている。

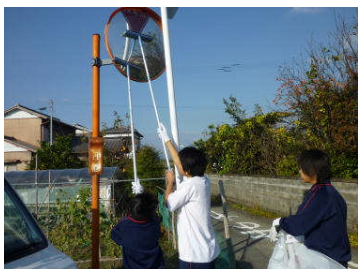


- 毎月1回生徒会環境委員会が学校周辺の清掃活動を行っている。



⑤ 地域の方々と一緒に活動

- ボランティア部が地域の方々と校区内のカーブミラーを清掃している。



- ボランティア部が地域の方々の催す「花も実もある収穫祭」に参加し、さつまいもを収穫したあと、花を植えている。



4 具体的効果

- ◆ 学年、生徒会、環境委員会、ボランティア部などいろいろな集まりで清掃活動に取り組むなかで、美化に努める意識が深まってきた。また、地域の方々との交流も深まっている。
- ◆ 資源ゴミ回収により、ゴミの減量や資源の再利用を行おうとする習慣が身についてきた。

5 改善点

- ◆ 節電、節水の取り組みができていない。学校全体で取り組めるような方法を検討し、実施していきたい。
- ◆ いずれの活動においても、まだまだ所属する集まりが行えばよいとする傾向が見られる。まずは全校生徒に浸透させ、その高まりを家庭に広げていきたい。